26-114 新規採用看護師 MR 研修のアンケート調査について

○山本 哲也[1)]、山下 猛[1)]、曽田 卓実[1)]、今岡 桂子[2)]、松田 和久[1)]
1）島根県立中央病院 医療技術局 放射線技術科、2）同 看護局

【背景】看護師の MRI 検査知識習得が必要であるため、当院では、新規採用看護師へ MR 研修を行っている。

【目的】研修前後での MRI 検査の知識と理解度について調査し、検討した。

【MR 研修内容】
- MRI 検査の概要についてのビデオ講習（15分）
- 検査室内で非磁性体の説明や磁場体験など（8分）
- 申し送りでの注意点やお願い（5分）
- 5, 6 人のグループで5月上旬の17時から30分間

【方法】新規採用看護師52名に対し、研修終了後にアンケートを配布し、回収箱に投函してもらった。
　質問内容は3分類全12問とした。研修前後について4段階評価し、フリーコメント欄を設けた。

【結果】回収率92％、経験年数0.96 ± 2.89 年であった。
　『MRI 検査の危険性』（図1）、『MRI 検査の準備』（図2）、『MRI 検査の特徴』（図3）に示す。
　フリーコメントは以下の記入があった。
- 検査の事をもっと詳しく聞きたかった。
- 症例画像があれば、もっと理解が深まった。
- 研修開始時刻を遅くしてほしい。

【考察】研修前は知識がなく、室内で体験し、実感してもらったことが知識向上に繋がったと考える。実験データやアーチファクト画像の提示など可視化することが必要であると考える。定期的に研修を開催し、検査内容の知識を深め、自信をつけてもらう必要がある。5月上旬は各病棟で看護業務が始まっているため、研修時期や開始時刻を関係部署と検討する必要がある。

【結語】研修時間や定期開催など他部署との連携強化が必要である。本研修の有用性を確認することができたが、可視化という課題が明らかとなった。

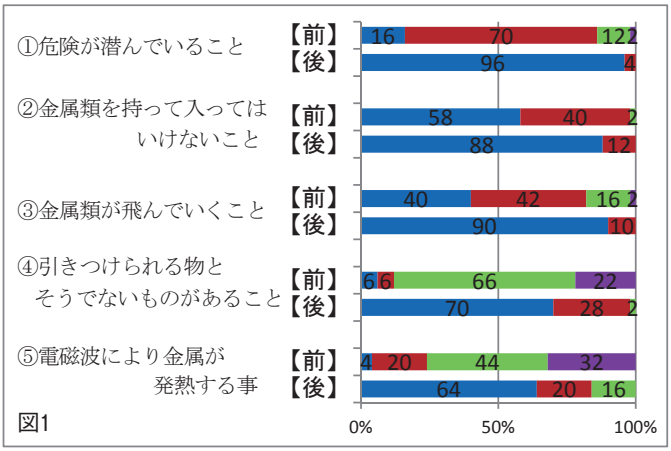


図1

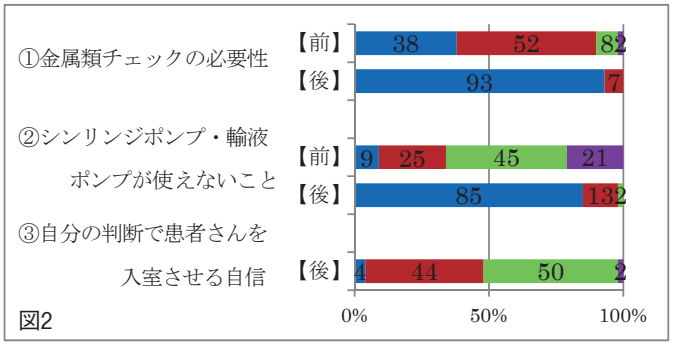


図2

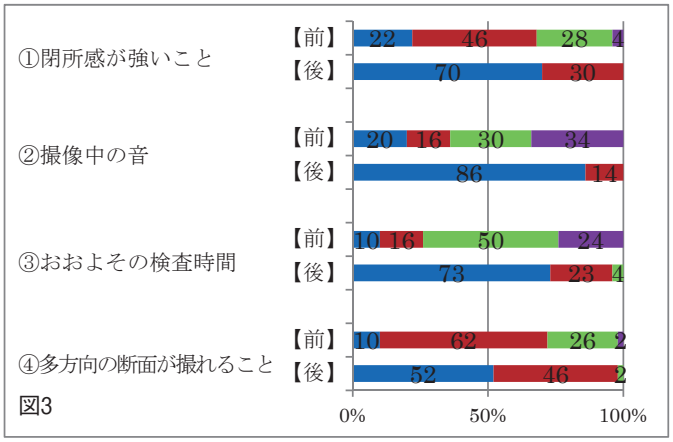


図3

■よく知っていた、よく理解できた、すごくある
■少し知っていた、少し理解できた、少しある
■あまり知らなかった、あまり理解できなかった、あまりない
■全く知らなかった、全く理解できなかった、全くない

26-115 診療放射線技師における基本給の動向

○瀧本 佳広[1)]、徳原 祥子[1)]、的野 里圭子[1)]、永尾 結奈[1)]、澁谷 光一[2)]、鷲見 和幸[2)]
1）岡山大学医学部保健学科放射線技術科学専攻、2）岡山大学大学院保健学科研究

【目的】これまで2005年度から2010年度まで診療放射線技師の基本給の動向を調査してきた。今年度も引き続き調査し、社会全体における診療放射線技師の現状を明らかにすることを目的とする。

【方法】2011年に岡山大学医学部保健学科に寄せられた求人票を対象に行った。昨年までは看護師と診療放射線技師、臨床検査技師の基本給、および採用条件における学歴の有無、中四国地方の施設と全国の施設の比較を行ってきた。今回は基本給＋諸手当を加えた給与についても調査を行った。また、岡山大学の学生が就職先の病院に何を求めているかについても調査を行った。

【結果】2011年度の全国の基本給の平均は看護師では208,177円、診療放射線技師は184,669円、臨床検査技師は184,612円であった。看護師と比べると診療放射線技師では23,508円低く、臨床検査技師では23,149円低かった。また、全国の基本給＋諸手当を加えた給与では看護師では269,714円、診療放射線技師では212,654円、臨床検査技師では203,149円であった。看護師と比べると診療放射線技師は57,060円低く、臨床検査技師では66,565円低かった。中四国地方では看護師の基本給の平均が198,201円、診療放射線技師は183,355円、臨床検査技師は181,092円であった。看護師と比較すると、診療放射線技師は14,846円低く、臨床検査技師は看護師に
比べ17,129円低かった。

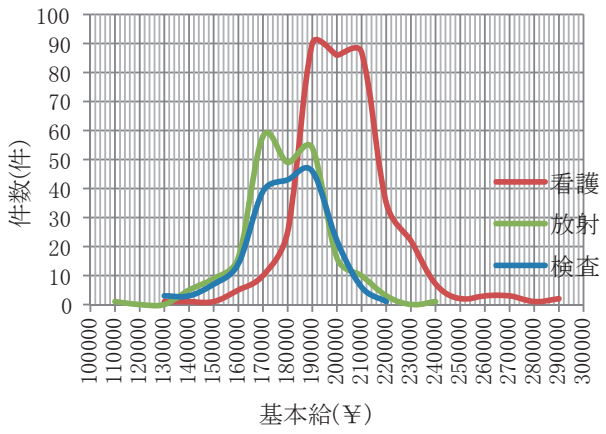


図1 全国における基本給の比較

表1 就職先に求めること

項 目	人数（人）	割合（%）
常勤か非常勤か	15	19.7
見学しての印象	14	18.4
出身地	14	18.4
施設の規模	9	11.8
給 与	7	9.2

上の表を見て分かるように給与は9.2%とそれほど高くない結果となった。反対に、常勤か非常勤か、見学しての印象、出身地などの項目が多く支持されていることが分かった。

【考察】2011年度の基本給の比較では看護師が診療放射線技師、臨床検査技師に比べて高く、看護師と診療放射線技師、看護師と臨床検査技師の間には有意差が認められた。これは学歴の区別の有無に関係なく、同じ傾向がみられる。諸手当を加えた給与では看護師と診療放射線技師、看護師と臨床検査技師との間には大きな差が生じている。アンケートの結果を見てみると学生は給与よりも将来を見据えた事項を施設に求めている傾向にある。

【結論】全国と中国・四国地方の基本給に明らかな差は認められなかった。しかし、看護師と診療放射線技師の採用条件には未だに差を感じられる。診療放射線技師は正当な扱いを受けていないと考えられ、この現状を病院関係者に知ってもらうことで、病院内における診療放射線技師の待遇の改善が期待される。

26-116 院内 BLS（Basic Life Support：一次救命処置）講習に対して診療放射線技師が抱く心理的側面の解析と今後の改善点

○蘆原 友里[1)]、渡邉 敏充[1)]、鷲見 和幸[1)]、林 由佳子[1)]、伊丹 圭介[1)]、氏福 左門[1)]、吉原 康了[1)]、荒尾 圭子[1)]、山田 純子[1)]、松本 尚浩[2)]
1）財団法人 倉敷成人病センター 放射線技術科、2）東京慈恵会医科大学附属病院 麻酔科

【背景】BLS（Basic Life Support：一次救命処置）訓練を受けた診療放射線技師が、実際の蘇生現場へ参入する状況、特に、蘇生現場参入への心理背景の分析は究明されていない。

【目的】我々は、診療放射線技師が蘇生現場参入に抱く抵抗感について説明を試み、診療放射線技師が蘇生現場に参入しやすくなるための仮説モデルを構築する目的でこの研究を行った。

【対象と方法】2012年3月～2012年6月に院内 BLS 講習を受講した診療放射線技師7名を対象とし、対象者から関心相関的サンプリングを用いて面接対象者を抽出し、半構造化面接を実施した。考察には修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（以下 M-GTA）を Research Question に適宜応用させた SCQRM（Structure-Construction Qualitative Research Method）を採用した。①Research Question（研究関心）…現実的制約（時間・資金・コネクション・倫理的制約）の範囲内において、学術的意義のある研究関心を設定したもので現実的で内的一貫性のある研究デザインを組むことが可能。② 関心相関的サンプリング…Research Question に照らして（相関的に）対象者をサンプリングすることで、現実的制約を勘案しつつ Research Question や研究目的に照らして対象者を選定すること。③半構造化面接…インタビュアーが対象事項に関する必答の質問項目を予め設定し、質問項目からある程度逸脱した思考や意見等は許容しつつ、更にその「ずれ」を展開させるように面接を進め言葉を深めていく方法。④修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ…データに密着した分析から独自の理論生成を可能とする質的研究法であるグラウンデッド・セオリー・アプローチ（GTA）を受け継ぎ、より実践的に改良された社会調査法。⑤SCQRM（Structure-Construction Qualitative Research Method）…構造構成的質的研究法。「一般化」という構造化に至る過程を手掛かりに、類推を働かせ既知の構造（知見）が理解したい事象に当てはまる可能性を検討し、科学性を担保する条件がそのまま一般化可能性を担保する条件を満たすこと。

【結果】◆院内 BLS 訓練における①受講前のイメージ〈定義〉訓練前には手技の難易度が焦点。②受講後の効用〈定義〉訓練後は BLS の重要性や必要性を再認識。③受講後の違和感〈定義〉受講後は基礎訓練に留まる事、練習回数の少なさ、実際の現場に対する差異に困惑。◆実際の蘇生現場における①BLS 受講前のイメージ〈定義〉受講前のイメージとして根幹にあるのはスキルや現場経験回数に対する不安。②BLS 受講後の発展的変化〈定義〉BLS 受講前に抱いていた参加への不安が意欲へと変化し、訓練による自身の可能性へ期待。③BLS 受講後に生じた障壁〈定義〉現場参入指示の有無、自己 BLS スキルの確実性また周囲や蘇生結果へ及ぶ新たな心理的不安の発生。■院内 BLS 訓練受講によって得られた①作用…自己理解・継続受講や蘇生意欲の向上、実働ポジションの模索。②反作用…受講しても蘇生に遭遇する機会が希な職種のため、実際の実施への不安。■解決策①リーダーからの的確な指示②自己スキルの向上③より状況に即した訓練モデルの提供・考案④善きサマリア人法（※）の教示　※「災難に遭ったり急病になったりした人など（窮地の人）を救うために無償で善意の行動をとった場合、良識的かつ誠実にその人が出来る事をしたのなら、例え失敗してもその結果につき責任を問われない」という趣旨の法。

【結果のまとめ】現行の院内 BLS 講習受講後、対象者全員が蘇生手技を含む自己理解を深め実際の蘇生現場での蘇生チーム参加への意欲を示した。しかし診療放射線技師という立場は自主的な蘇生チームへの参入及び自己スキルや法的問題等に対し抵抗意識を抱かせた。

【考察】結果のまとめから、以下の2点が改善策として考察される。1）実際の蘇生チームに参加を容易にする訓練 a）蘇生チームリーダーがチームメンバーを積極的に巻き込む指示を出す訓練 b）診療放射線技師自身がリーダーに実施可能な技能について積極的参加を申し出る訓練 c）法的な保護があることを理解させる訓練 2）実際の急変現場に即した実働訓練を重ねる。尚、このモデルは暫定的であり、今後更なる検討が求められる。

【参考文献】

西條剛央『ライブ講義　質的研究とは何か　SCQRM ベーシック編・SCQRM アドバンス編』新曜社、『看護研究で迷わないための超入門講座』医学書院

26-117 災害時における放射線部門アクションカードの考案

○渡辺 真由美
愛媛県立中央病院

【はじめに】東日本大震災を期に、改めて防災に対する意識が高まり、当院においても災害対策マニュアルの更なる整備を行った。その中に、全部門における初動について明記されてはいるが、全職員にその内容が周知徹底されているとは言えず、めったに発生しない災害に対し、速やかな対処行動をとることは困難であり、災害時の初動及び活動には困惑するものと推察される。

【目的】災害発生時に、放射線部門の診療放射線技師がアクションカードに従って行動すれば、災害対策マニュアルに沿った対処行動ができるようにアクションカードを考案する。

【方法】

Ⅰ. 放射線部門の診療放射線技師を対象とした災害への意識調査

Ⅱ. 災害発生時における放射線部門のアクションカードの作成

検討項目：

①アクションカードの形態

②災害対策マニュアルから、アクションカードへの表記事項の検討

③放射線部門における独自の災害対策に関する表記事項の検討

④役割や勤務体制別の検討

Ⅲ. 初動対応チェックリストの作成

【結果】

Ⅰ. 放射線部門の診療放射線技師を対象とした災害への意識調査

①災害対策マニュアルを読んだことがありますか

はい：19％　　いいえ：81％

②災害対策マニュアルに明記されている災害時の初動を知っていますか

はい：12％　　いいえ：88％

③今、勤務時間内に災害が発生したら、初動対応をとることができますか

はい：27％　　いいえ：69％　　わからない：4％

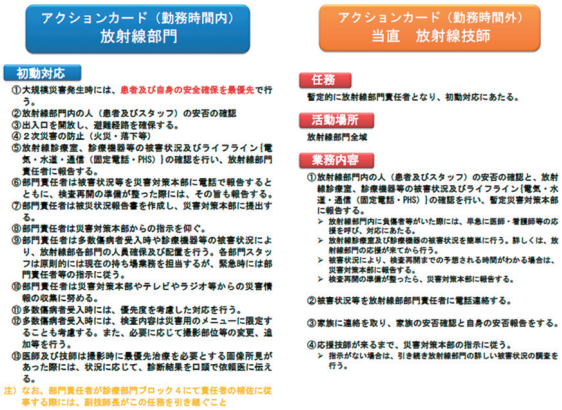
④今、勤務時間外に災害が発生したら、初動対応をとることができますか

はい：8％　　いいえ：84％　　わからない：8％

⑤アクションカードを知っていますか

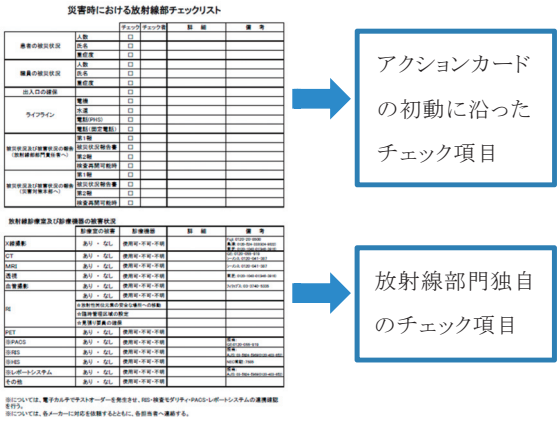
はい：19％　　いいえ：81％

Ⅱ. 災害発生時における放射線部門のアクションカードの作成



【初動対応の流れ】　【アクションカードの例】

Ⅲ. 初動対応チェックリストの作成



【考察】

- アンケート調査により、スタッフの災害に対する意識や問題点が明らかとなった。
- アクションカードは活動時に携帯しやすいようにポケットサイズのものとした。
- 災害対策マニュアルに沿った対処行動がとれるよう、様々な状況下､役割別のアクションカードを考案した。
- アクションカードを取り入れることにより、スタッフの災害時における適切な対処行動が期待できる。

【結語】

- 災害発生直後に、災害対策マニュアルに沿った対処行動ができるようにアクションカードを考案した。
- ハード面の災害への備えはもちろんのこと、アクションカードの導入、災害研修や定期的な訓練を行うことにより、災害の備えを進めていきたい。